

| | | | | | | | |
|------|---|----|----|------|--|-----------|----|
| 授業科目 | 科学英語文献講読 | | | | | 実務家教員担当科目 | - |
| 単位 | 1 | 履修 | 選択 | 開講年次 | 4 | 開講時期 | 前期 |
| 担当教員 | 藤和 太 | | | | | | |
| 授業概要 | <p>英語に興味のある者、栄養に関する専門分野の英語文献を読んでみたい者、外国人と栄養に関わるコミュニケーションをとりたいと思う者、大学院入試科目である科学英語の勉強をどうやつたらいいか分からぬで困っている者、そういう方々に受講して頂きたい科目である。</p> <p>管理栄養士が活躍する病院、老人福祉施設、食品企業などでは、業務を遂行する上で英語文献を読み解く必要に直面する場面や、英語を用いて外国人とのコミュニケーションが必要になる場面が増えてきている。また、管理栄養士過程の学習をより深耕するために大学院に進学する者が増加しつつあり、その入学試験科目のひとつとして科学英語が課されている。</p> <p>一方、さまざまな科学分野によって一般的な英語とは違った単語や語法がある。管理栄養士過程に関わる分野の科学英語においても特有の専門語句や語法があり、それらを学ぶには一般英語とは違った学びの場が必要となる。そこで、本講義では、管理栄養士過程で学ぶ諸科目における科学英語文献を読み解くため、および、管理栄養士過程の大学院入試に備えるための、基礎力を養成する。</p> | | | | | | |
| 授業形態 | 対面授業 | | | 授業方法 | 毎回科学英語論文を読み、専門用語と文法を調べ、プレゼンテーションを行う。そしてグループワークディスカッションで理解度を測る。 | | |

学生が達成すべき行動目標

| | |
|--------|--|
| 標準的レベル | (1) 基本的な専門用語の読み書きができる。(DP3-1) (2) 基本的な科学英語特有の語法の読み書きができる。(DP3-1) (3) 基本的な科学英語の翻訳ができる。(DP5-1) |
| 理想的レベル | 標準レベルに加え、科学英語論文を読み、英語で発表できる。 |

評価方法・評価割合

| 評価方法 | 評価割合(数値) | 備考 |
|------------------|----------|----|
| 試験 | 0 | |
| 小テスト | 0 | |
| レポート | 0 | |
| 発表(口頭、プレゼンテーション) | 100% | |
| レポート外の提出物 | 0 | |
| その他 | 0 | |

カリキュラムマップ(該当DP)・ナンバリング

| | | | | | | | | | | | |
|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|--------|----------|
| DP1 | - | DP2 | - | DP3 | ○ | DP4 | - | DP5 | ○ | ナンバリング | NT32701J |
|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|--------|----------|

学習課題(予習・復習)

1回の目安時間(時間)

| | |
|--------------------|---|
| 単語および語法の復習、課題英文の翻訳 | 4 |
|--------------------|---|

授業計画

| | |
|-----|---|
| 第1回 | テーマ：第1回 単語・語法・翻訳の学習 科学英語論文を選び、論文の構成について説明する。 |
|-----|---|

| | |
|-----------------------|--|
| 第 2 回 | テーマ：第 2 回 単語・語法・翻訳の学習 要旨の読み方について |
| 第 3 回 | テーマ：第 3 回 単語・語法・翻訳の学習 序論の読み方について |
| 第 4 回 | テーマ：第 4 回 単語・語法・翻訳の学習 略語の用法などについて |
| 第 5 回 | テーマ：第 5 回 単語・語法・翻訳の学習 材料と方法の読み方について |
| 第 6 回 | テーマ：第 6 回 単語・語法・翻訳の学習 結果の読み方について |
| 第 7 回 | テーマ：第 7 回 単語・語法・翻訳の学習 考察の読み方について |
| 第 8 回 | テーマ：第 8 回 単語・語法・翻訳の学習 前回までの翻訳課題に関する講評と総まとめ |
| テキスト | テキストは使用しない。 講義で使用する資料は配布する。 |
| 参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介 | 受講する者は、無料の Google 翻訳、または、他の翻訳ソフトを使いこなせることを望みたい。 |
| 課題に対するフィードバックの方法 | (1) 定期試験は行わない。 (2) 評価は、英語論文の翻訳、その発表、(質問、応答、出席状況、熱心な態度) の合計で行う。 |
| 学生へのメッセージ・コメント | 総合人間科目で必須科目となっている英語科目的単位をすべて取得している程度の能力があればよい。 日頃から、英語に興味をもっている方々に受講して頂きたい。 |